



Towards a Synodal Church

— 「ともに歩む教会」を目指して —

教会を通して知り合った友人・仲間たちによる
教会ならではの発表会を行います

Art & Music Festival

教会文化祭

Nigawa Catholic Church

カトリック仁川教会

2026年1月18日(日)

展覧会 13:00~15:00

音楽会 15:00 開演

会場 カトリック仁川教会

入場料 無料

最寄り駅

阪急今津線

仁川駅 または 甲東園駅 から

徒歩 8 分





Exhibition and Cafe

展覧会・カフェ

13:00 - 15:00

カフェオーダーストップ

14:30

場所：フランス館 1階

美術・書作品

「コーナン神父様」

パリ外国宣教会の神父様で
夙川教会に赴任されたときに写
生させていただきました。制作に
は約半年かかりましたが、神父様
ご本人にも満足いただきました。



本作品は、毎年東京銀座で開
かれている全国カトリック美術協会(会長 菊池 功 枢機
卿)の展覧会に出品しました。 木寅 勉

カリグラフィー

聖心会シスター林千鶴様のご指導のもと、イタリック、
ゴシックなどの書体でグリーティングカードを作製、バザーに
出品してきました。今回はマタイ福音書「幸いなるかな…」で
始まる真福八端を装飾聖書のように表現しようと、共同
作業で試みています。作製途上ですが



どうぞご覧ください。

カリグラフィーグループ一同

手芸作品

華道と刺繍の融合

旧約聖書に登場する最初の人間「アダムとイ
ブ」、宝塚市のシンボル花すみれをアレンジした
「すみれの精」を展示させて頂きます。二点とも、
原画作成から始めたオリジナル作品です。

作者の Setsuko は小原流師範として生け花
を指導する傍ら、多くの生け花刺繍作品を遺し

ました。戸塚刺繍を学
び、旅先のヨーロッパ
刺繍の影響も受けま
した。こちらの二点の
作品は、唯一人物を
描いたものです。

作者: Setsuko
出展者: 大島 純江



北欧の刺繍



デザインできるので、チクチクと楽
しみながら刺しています。

バザーで見ていただく小さい作
品だけでなく、少し大きい作品も展
示いたします。

フランス刺繍
とは一味違った
作品をご覧ください。

寺尾 昌子
藤本 博子



手作りのぬくもり

仁川教会の手芸会ではみなさ
まから寄付された材料を使って、
手作りの品をバザーで販売してき
ました。今回はメンバー全員で力
をあわせて作り上げた渾身の大作
をご紹介します。

また、いつものようにチャリティ
のための販売もいたします。どう
ぞお楽しみに。 手芸会一同





Concert

聖堂コンサート 14:30 開場 15:00 開演

場所：聖堂

プログラム

Tutto lo di mi dici (O. Lassus)

Sicut cervus (J.P. Palestrina)

Canite Tuba (Hans Leo Hassler)

Ubi caritas (Maurice Durufle)

White winter hymnal (Robin Pecknold)

365 日の紙飛行機 (角野寿和・青葉紘季)

Clare Benediction (J. Rutter)

イエス、我が喜び (J.Grüger~J.S.Bach)

小フーガ ト短調 BWV578 (J.S.Bach)

アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク (W.A.Mozart)

ニューヨークの印象 (A.Rosenheck)

I セントラルパーク

II 地下鉄

III マンハッタンの月

IV ブロードウェイ初日

演奏曲目は変わる場合があります。

演奏者

Laetitia Nova

1994 年結成の声楽アンサンブル。現在 5 名で活動。結成当初からルネサンス宗教曲及び世俗曲を主要レパートリーとし、稀有で素晴らしい楽曲を発掘すべく、知られていない作品の探求にも力を注いでいます。一方でルネサンスに限定することなく、ロマン派から近現代、ポップス、日本語の歌にも取り組んでいます。

グループ名の“Laetitia Nova” (レティツィア・ノーヴァ) はラテン語で「新しい喜び」を意味し、ジョスカン・デ・プレのアヴェ・マリアの歌詞にヒントを得て命名しました。常に新しい事に挑戦し、喜びを得る事が活動の原動力です。



Ensemble tutu

私達“アンサンブル tutu”は、1969 年に教員の研究組織として発足し、50 年余の活動歴を持つアマチュアリコーダー一合奏団です。大阪府豊中市を中心に、今では職種や年齢も様々なメンバーが集って活動しています。“tutu”という名前はリコーダー奏法のタンギングに由来します。レパートリーは中世からルネサンス、バロック～近現代まで幅広く、アンサンブルを楽しみつつ、一人でも多くの方々にリコーダーの美しい響きをお伝えできればと、日々精進しております。数年ごとの定期演奏会と、年に数回のボランティア演奏等をおこなっています。

♪メンバー募集中♪

ご一緒にリコーダーアンサンブルを楽しみませんか？
ご見学も歓迎します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

URL <https://ensemble-tutu.jimdofree.com>



教会文化祭

2021-2024年のSynod(教会会議)を契機に、カトリック仁川教会ではSynodality(社会の人々と「ともに歩む」こと)を念頭に置き、「ともに歩む教会」を目指して何が出来るか考えてまいりました。そして一つの方法として、色々な方と一緒に、生きることの喜びを分かち合う場を作ってみようという思いに至り、「教会文化祭」なるものを開催する運びとなりました。教会文化祭はたった一日のイベントですが、発表される作品や演奏は、長い時間をかけた一人ひとりの日々の努力の積み重ね、つまり毎日そのもの、と言えるでしょう。出展・出演する方々の成果を十分に感じていただけると幸いです。そしてご来場くださるすべての方におかれましても、お一人おひとりの日々の努力が祝福され、大きな実を結ぶことができますように、と願いを込めてこの文化祭を行います。

カトリック仁川教会について

仁川教会は1948年、夙川教会の分教会として仁川の地にあった聖クララ会修道院内(2014年7月閉鎖)に発足しました。同じころ、コンベンツアル聖フランシスコ修道会が修道院用地を探していました。ポーランド人修道士が、きれいな水が流れ、自然に恵まれ、交通の便が良い現在地を非常に気に入り、1950年に修道院を設立しました。この年に大阪大司教より、同修道会に教会の運営が委託され、1952年に現在地に聖堂を献堂、5月11日を献堂記念日として毎年祝っています。その後1992年に現聖堂に建てかえられ、1995年の阪神大震災では地域の避難所として教会を開放しました。多様化する社会の中で、常に人々と「ともに歩む教会」であり続けることを目指しています。

ミサ

主日のミサ:土曜日 17時、日曜日 7時・9時
平日のミサ:月～土 6時15分(小聖堂)
その他の予定はWebサイトでご確認ください。

連絡先

カトリック仁川教会

〒663-8006 兵庫県西宮市段上町4-2-11

TEL 0798-51-0176

URL <https://www.nigawa.catholic.ne.jp/>



アクセス

阪急今津線甲東園駅または仁川駅から徒歩7分



会場建物配置図

